

2024年度自己評価報告書

1、教育目標

～校訓～

創造 克己 奮励

～教育理念～

- ・大好きな吹奏楽を仕事にしたいという想いに応える。
- ・社会に広く貢献できる人材を育成する。

～教育方針～

- ・感性豊かな人間性の醸成
- ・知識技能の徹底錬成
- ・克己心の育成

2、自己評価について

新型コロナ感染症の影響も収まり、合宿や定期演奏会、芸術鑑賞会等の課外学習もほぼ通常の活動に戻った2024年度がスタートして6ヶ月が経過しました。

ここ数年前から始まった全国中学高校での部活動民営化開始の影響で、学校のクラブ活動に参加する生徒数が全国的に明らかに減少しており、それに伴い ESA 音楽学院への入学希望者も減少する傾向にあります。我が校は他の専門学校と違い基本的に吹奏楽部の生徒限定に近い形での募集をしておりますので部活動をする人数の減少が、そのまま影響してきている状況です。

そこで、在学中の学生へのサポートはもちろん第一に考える事ではありますが、今後ESA音楽学院を進路の1つに考えている受験生に対しても、更にわかりやすい形でアピールしていかなければと思いつつ改革を始めたいと思います。

今回評価の低かったポイント、また前年度に比べ評価が下がってしまったポイントと真摯に向き合い、より具体的な解決方法を模索し改善してまいります。

毎年自己評価委員会を開催する事。またこの自己評価を学校関係者評価委員会と共有する事で、更により学校運営になるものと考えております。

3、自己評価アンケート集計結果

授業を受け持つ教員及び常勤職員を対象の無記名アンケート。

評価対象期間は2023年4月1日から2024年3月31日まで。

<教育理念・目的、育成人材像>		今年度	前年度
1	理念・目的・育成人材像は定められているか	2.73	2.86
2	学校における職業教育の特色はなにか	2.67	2.64
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.40	2.15
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	2.07	2.07
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.47	2.21
<学校運営>		今年度	前年度
6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.27	2.07
7	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	2.20	2.07
8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.20	2.00
9	人事・給与に関する制度は整備されているか	2.27	2.29
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.20	2.21
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.27	2.14
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	2.33	2.21
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.00	2.00
<教育活動>		今年度	前年度
14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2.40	2.57
15	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.13	2.21
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.33	2.14
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.07	2.21
18	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.00	1.93
19	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	2.07	2.21
20	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.20	1.93
21	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.13	2.00
22	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	2.47	2.50
23	資格試験の指導体制・カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	2.07	2.07
24	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.27	2.14

25	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2.00	1.86
26	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がおこなわれているか	1.67	1.86
27	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	1.67	1.79
<学修成果>		今年度	前年度
28	就職率の向上が図られているか	2.13	2.07
29	退学率の低減が図られているか	2.00	2.00
30	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	1.93	2.00
31	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	1.93	1.93
<学生支援>		今年度	前年度
32	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.47	2.36
33	学生相談に関する体制は整備されているか	2.27	2.21
34	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	2.47	2.29
35	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.20	2.00
36	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.20	1.86
37	学生の生活環境への支援は行われているか	2.13	2.07
38	保護者と適切に連携しているか	2.07	2.07
39	卒業生への支援体制はあるか	1.80	2.07
40	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.07	2.14
41	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	1.80	1.93
42	関連分野における業界等との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	1.73	1.79
<教育環境>		今年度	前年度
43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	1.80	1.64
44	学内外の実習設備・インターンシップ・海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2.20	2.07
45	防災に対する体制は整備しているか	2.20	1.86
<学生の募集と受入>		今年度	前年度
46	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組をおこなっているか	2.27	2.00
47	学生募集活動は適正に行われているか	2.40	2.07
48	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	2.33	2.07
49	学生納付金は妥当なものになっているか	2.40	2.36
<財務>		今年度	前年度
50	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2.27	2.36
51	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	2.33	2.36

52	会計監査が適正に行われているか	2.36	2.36
53	財務情報公開の体制整備はできているか	2.40	2.36
<法令等の遵守>		今年度	前年度
54	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.47	2.38
55	個人情報に関しその保護のための対策が執られているか	2.20	2.38
56	自己評価の実施とその問題点の改善に努めているか	2.27	2.15
57	自己評価結果を公表しているか	2.67	2.46
<社会貢献・地域貢献>		今年度	前年度
58	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.00	1.85
59	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2.20	1.92

(それぞれの項目の合計点を回答者数で除算し、小数点第三位以下を四捨五入している。)

4、評価平均が2:適切を下回った項目について。

<教育理念・目的・育成人材像>		評価
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		
<学校運営>		評価
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		
<教育活動>		評価
26	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	1.67
外部の企業研修会のセミナー受講を推進しています。 各種講演やセミナーの案内を講師の先生方にも行います。		
27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	1.67
部の企業研修会のセミナー受講を推進しています。 各種講演やセミナーの案内を講師の先生方にも行います。		
<教育活動>		評価
30	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	1.93
令和6年度夏に同窓会を実施し、一部卒業生の現況を確認いたしました。		
31	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	1.93
令和6年度夏に同窓会を実施し、一部卒業生の現況を確認し今後の教育課程編成に活用予定です。		
<学生支援>		

39	卒業生への支援体制はあるか	1.80
卒業生支援課の設置準備を開始いたします。		
41	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	1.80
八洲学園大学国際高等学校との連携を行っており、今後も行っていきます。 令和6年度に部活動のない通信制高校等の吹奏楽経験者へ吹奏楽の職業教育の取組準備を行う予定です。		
42	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	1.73
令和6年度設置の業界関係者が委員を務める教育課程編成委員会にて、卒後の教育プログラムについて取り組む準備を行っております。		
<教育環境>		
43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	1.80
演奏用楽器・リペア実習用楽器について、必要に応じて整備しており、今後も行っていく予定です。 建物の構造に関しては、早急に対応する事は困難ではありますが、可能な限り対応を行っていく予定です。		
<学生の募集と受入れ>		
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		
<財務>		
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		
<法令等の遵守>		
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		
<社会貢献・地域貢献>		
上記について評価ポイントが2を下回る項目はなかった。		

5, その他

各項目について具体的に行動を起こしていく。